

電友会岡山支部便り

# 花の種

No. 124 2022年 4月号

電友会岡山支部

〒700-0827 岡山市北区平和町7-6

TEL (086) 221-0698

FAX (086) 235-0742

メールアドレス [denyu@bronze.ocn.ne.jp](mailto:denyu@bronze.ocn.ne.jp)

敬弔情報 <https://blog.goo.ne.jp/denyukai2367>

パスワード nttob

知的好奇心旺盛な仲間の居場所!!

「知研・岡山ってなに??」

幹事(広報担当) 雨坪 壽則 さん

知研とは

ある居酒屋で「ちけん おかやまです。」と店長へ言ったら、え〜あの「地検岡山」ですか？

いえいえこの「知研・岡山」です。「知的生産の技術研究会・岡山」の「知研・岡山」です。

知研岡山のはじまり

梅棹忠夫著の「知的生産の技術」(岩波書店)から「知的生産の技術研究会(知研・本部)」を東京で立ち上げ活動している。との情報を、聞いて昭和61年(1986年)ごろQCサークル活動(小集団改善活動)が盛んな頃[NTTのQCサークルは、(ASK活動と称す)]に知り合った岡山県南企業等の「知的好奇心の旺盛な人たちの集団」が、平成10年(1998年)6月に「知研・岡山」を立ち上げた。

「知研・本部」が50年以上続いているのは、梅棹先生の後光と知的生産の技術という基本線を守ってきたからである。イデオロギストと宗教者、政治家はタブーで、自由主義な人達の集まりである。

「知研・岡山」が24年続いているのも本部の活動方針に賛同し、岡山という素晴らしい地域に根ざした個性豊かな活動を行ってきたからである。

発足時 私は、岡山支店 企画部 設備企画に在籍中で異業種交流会など気軽に集まれる、月に1回の気心の知れた仲間との知的好奇心旺盛な仲間の居場所として発信・受信、話す・聞く、伝える・受ける、幹事会や講演会などに参加し広報担当として主に集客用チラシの作成、ホームページの更新を行ってきた。

特に岡山県内で、人気のある人、有名な人、特技のある人などに直接交渉して、話してもらい、講演料は会員・一般聴衆から会費を集めて運営してる。知研・岡山のような小さい会が、集まった人たちからコーヒー代程度の参加費で、有名人や時の人の講演を一般の人に聞かせるということはあまり無かった。

事業運営は、会則に基づき運営をしている、総会・幹事会で事業・会計報告、事業計画予算など、幹事会であの講師をよびたい、あの講師なら連れてこられる、などと言って決めると、一年間の事業計画がすぐに決まる、いったいあの会の路線はなになのかと疑われて参加者は知的好奇心に襲われ寄ってくる。奇妙奇天烈な人物をよぶなど知研は知的生産の技術の普及を使命とした、毎月1回開催(八月は除く)、年間計画のジャンルは【講演会】【お出かけ隊】【読書会】【スポーツ関係】【障害者】【頑張る女将さん】これで6カ月+8月(夏休会)で残り5カ月を[行政][健康][会員の発表]などでほぼ決まる。

講師の選択については、要するに知的な刺激のシャワーを浴びせ続けることができるかで、どんな講師を呼ぶかについて、自分が話を聞きたい人は、他人も同じだろうと推定して岡山市長などと呼んだこともあり、自分が聞きたい人物は会員さんも聞きたいというのは真理だった。熱心な会員は幹事に他薦で要請する。計画段階で好みのテーマ・講師を推薦できるから、講演会のテーマ以外の話が講師から意外な面を聞けることがあるから楽しい。



以下に これまでの活動の一端を紹介する。

詳しくは「知研・岡山」のホームページ [www.tikenokayama.sakura.ne.jp](http://www.tikenokayama.sakura.ne.jp) をご覧ください。

## 【講演会】

- [2005年(平成17年)8月開催]えひめ丸の水中捜索活動 行方不明乗組員の捜索  
平成13年8月7日海上保安庁長官から要請 8月8日行動命令発令、10日呉出港  
“潜水艦救難技術と「ちはや乗員」の真心” 講師:鈴木 富男(すずき とみお)さん  
海上自衛隊潜水医学実験隊副長兼教育訓練部長1等海佐 元潜水艦救難母艦ちよだ艦長

## 【障害者】

- [2004年(平成16年)6月開催] 『トーク&コンサート』  
テーマ:“友彦ブギウギ「笑顔の明日をつかもうよ”  
～全盲・右手マヒのキーボードミュージシャン友くんの母が語る～  
講師:堤 恵子(つつみ けいこ)さん紹介 1953年、山口県生まれ  
高校卒業後、広島県内の会社に入社、結婚、3人の子に恵まれる。  
長男友彦君の突然の事故で障害と向き合うこととなる。  
障害者の高校進学を真正面から取り組み、共に生きることの重要性を痛感「府中市手をつなぐ親の会」会長(5年間)現在、「トーク&コンサート」で人を信じることと共に生きることの大切さを伝えている。  
著書:笑顔の明日をつかもうよ 論創社 1500円+税

## 【スポーツ関係】

- [2013年(平成25年)4月開催]株ファジアーノ岡山スポーツクラブ代表取締役  
木村正明氏の話は、「子供たちに夢を！」～晴れの国・岡山から「リーグへ～

## 【お出かけ隊】

- [2019年(令和元年)9月開催]  
講演『新しい時代を迎えて(大原の歩む路)』  
講師:大原美術館 副館長 森川 政次 氏 会場:大原美術館・大原本邸(旧大原家住宅)

## 【頑張る女将さん】毎年12月忘年会として開催

- [2021年(令和3年)12月開催]頑張る！女将さんシリーズ第19弾  
健康維持の為に～糖質を減らし、脂質を増やせ～ 管理栄養士で女将 永樂 皆実さん  
2022年12月は、20回目を迎える 忘年会を合わせ開催 女将さんの生き様など聞く

## 【読書会】

- [2022年(令和4年)2月開催]第6回新読書会で雨坪が大賞を頂いたその本は  
「ワクワクを探して Let`sお墓参り」～なんとなく終わる人生を輝く人生へ  
藤原 巧&お墓参り委員会 啓文社書房  
若者が「あの世感」を現代の感覚で表すと目に見えない「あの世」をコンピューターの世界の「クラウド」で表す。魂(思い出等)は葬式で「データ化」して戒名という名なの「URL」を振り分けられてる。僧侶という「システムエンジニア」が、お経という「プロトコル(議定書・手順書)」をってお寺という「サーバー」を通じてあの世という「クラウド(極楽浄土)」へ上がって(アップデート)いく。システムエンジニアは、魂(思い出等)をサーバーを介してお墓という「デスクトップPC」や位牌という「タブレット・スマホ」などの「デバイス」に同期します。お墓参りという行為は、「クラウド」から祖を(ダウンロード)して自分の身近に置いて拝むということに近い、法事(3回忌・7回忌・・・)という「メンテナンス」をシステムエンジニアが取り行いそれを身内という「ユーザー」が僧侶に願する。若者はこのような感覚で、「あの世」や「死にまつわる世界」を見ており、そこには宗教も何もありません。とこの本は伝えている。

「知研・岡山」も、今年6月で24年目を迎える、ホームページにあるように今までの貴重な足跡(思い出等)が残っている事業報告にある中を活用して15年・20年と節目では記念誌の作成などに活用している。私も、いよいよ3月で75歳になりました。まだまだ!、早もう!、やっとの気持ちです。私の母が、95歳で他界して昨年七回忌をしました。まだ遅くない!!  
これからも「ワクワクを探します。」これからが【輝く人生へ】 雨坪 寿則

